

実施報告書

実施内容

外部講師を招き、「不適切保育」などの研修を受け、本年度の重点目標「子ども達が安心・安全に幼稚園生活を過ごせる環境を目指す」に向けて知識を深める。

取り組み期間

6月26日～3月31日

どのような事を行い、どのように向上したか

行ったこと	向上したこと
子ども達への言葉がけに今まで以上に気を付け、わかりやすい言葉でやさしく伝える。自分の行動・言動を振り返りチェックを行う。職員同士でチェックし合あう。	言葉の語尾にも気を付け、子ども達がより理解しやすい言い方ができるようになった。
職員同士で子どもの様子等、声を掛け合い共有を増やした。話を聞くとときの子どもの様子や表情をよく見る。	自分のクラスだけでなく、他クラスの子どもの様子に対しても職員一人ひとりが、より変化に気が付くようになった。
「〇〇しないと△△になるよ」というマイナスの言い回しには特に注意を払い、「〇〇したら△△だね」というような前向きな言葉選びをしている。物事を強要するような声掛けを避ける。	子ども達が楽しんでできるような、言葉選びと雰囲気づくりができた。言葉選びに意識を向けることで子どもへの寄り添い方や向き合い方が更に良くなった。
給食で食べるのを嫌がったら「困っていたら言ってね」と声をかけ、苦手な物を減らすのか、食べたくないのか、嫌だけど食べられるのか、子どもの意思を確認しながら対応するように努めた。	給食で嫌だという子が減った。子どもが自ら考え、どのようにしたいかを伝えられるようになってきた。

今後取り組む課題

○常に不適切保育にあたらぬかを考えて言葉がけをしていますが、もっと別の言い方がないか振り返り、今まで以上にその子その子に寄り添った保育を行う。

○疑問点等は他の職員と共有・相談し、あやふやにしない。

○きちんと目を見て話す、相槌をうつ等、これからも話しかけやすい雰囲気を積極的に作る。

○園児一人ひとりの状況に合った対応の仕方やコミュニケーションを強化する。

○園外保育の場所や保育内容を見直し、改善できるところは改善してより良い保育を行う。

評価内容

- いつも子供達の心に寄り添った保育をしているように見受けられる。
- 家では苦手な食べられない物も、『幼稚園で頑張って食べられたよ。』と子供から報告してくれます。
- 幼稚園の雰囲気も明るく活気があり、先生方も明るく子ども達 1 人ひとりを大切にみていて安心して預けられる。
- 延長のお迎えの時にたまたま見かけたのですが、子供同士のトラブルの際には時間をかけ、子供に何が悪いのか丁寧に説明していました。
- 職員の先生達が園児の様子をよくみていると思います。安全面に関してもよくみていると思います。
- 幼稚園のおかげで好き嫌いがなくなってきました。一粒残さずきれいに最後まで食べるようになりました。